

# 「札幌市国際戦略プラン」策定の概要

## 1. 必要性和背景

### (1) 札幌を取り巻く現状、社会経済情勢の変化への対応

人口減少や超高齢社会の到来、また、グローバル化のさらなる進行など社会経済情勢の変化へ適切に対応し、効果的な国際政策を展開するため、計画の再構築が必要。

### (2) 「札幌市まちづくり戦略ビジョン」の策定

現行の「札幌市国際化推進プラン」は第4次長期総合計画の部門別計画として位置づけられているが、現在第4次長期総合計画に代わる札幌市独自の「札幌市まちづくり戦略ビジョン」を策定することとしており、国際化指針についても戦略ビジョンを踏まえた改訂が必要。

## 2. 概要

### (1) 位置づけ

札幌市独自の新たなまちづくりの基本的な指針となる「札幌市まちづくり戦略ビジョン」の部門別計画とする。

### (2) 対象範囲

札幌市における対海外施策、海外諸都市との交流に関する分野と外国籍市民に関する分野の国際政策全般を対象とする。

### (3) 構成

国際化推進プランでは理念から施策までを含む一体的計画であったが、柔軟な見直しを可能にするため、理念と基本的な施策の方向性についての「国際戦略プラン」と、重点施策や具体的な施策についてとりまとめた「アクションプラン」の二本立てとする。

### (4) 期間

・「国際戦略プラン」については、「まちづくり戦略ビジョン」に合わせ2013年度から2022年度までの10年間を計画期間とする。ただし、策定にあたっては、計画期間を超える課題についても、長期的視点にたって検討の対象に含める。

・「アクションプラン」については、社会情勢の変化に応じた柔軟な見直しと進捗管理、検証を行うため、2013年度～2017年度までの5年の計画とする。

## 3. 内容

札幌市を取り巻く社会経済情勢の変化、札幌市の現状分析、国際施策展開の方向性、実施体制、など。国際施策展開の方向性については、地域活性化につながる外と内の国際化について盛り込む。

(1) **海外展開の方向性**

経済展開、観光プロモーションの対象国・地域の検討（アジア）  
留学生の活用、グローバル人材の育成

(2) **多文化共生社会の推進**

地域活性化につながる札幌の内なる国際化、外国人受入れ体制の整備  
外国籍市民への支援、日本人市民の意識醸成、多文化共生の地域づくり

**4. 策定の留意点**

(1) 「**選択と集中**」を意識した戦略策定

厳しい財政状況下での効果的な政策・事業展開のため、重点施策を明確化する。

(2) **プランの実効的な推進へ繋がる実施体制の構築**

実効的に戦略を進めるため、国内外における様々な主体との連携や庁内実施体制の整備を行う。

(3) **数値目標の設定（アクションプラン）**

進捗管理、検証のため、アクションプランにおいては数値目標を設定する。

**5. 策定プロセス**

(1) **国際戦略プラン懇談会**

有識者、企業関係者、公募市民などによって構成する懇談会を設置し、専門的知見に基づく意見を聴取するとともに、市民意見を加えた広い見地からのアドバイスをいただく。

(2) **市民参加**

既の実施した外国籍市民意識調査（2008年度）、日本人市民意識調査（2010年度）に加え、パブリックコメントを実施し、広く市民意見を反映させる。また、留学生とのカフェミーティングやフォーラムなどの開催を検討する。

(3) **議会**

総務委員会へ適宜報告を行い、議会との間の議論を進める。

(4) **国際化推進連絡協議会**

庁内の国際関連事業実施部局を構成メンバーとする国際化推進連絡協議会（平成6年設置）を開催し、適宜検討を行う。